

平成 27 年度 校区まちづくり懇談会 意見交換会要点筆記

テーマ:まち・ひと・しごと創生について

小学校区:松原小

開催場所:松原小学校体育館

日 時:10月14日(月) 19:30～

参加人数: 60 人

【出席者】

市長、副市長、教育長、部長職

【内 容】

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 地元代表あいさつ
4. 筑後市における人口の現状と将来推計について
5. 意見交換

質問①	
男性A	筑後市の人口減少傾向について、このような状況となった理由、原因は何か。子供を産めない、結婚できない理由をきちんと押さえないと策が打てないのではないか。
回答①	
企画 財政 課長	アンケート結果では、経済的な問題を理由とする回答が多く挙がっている。これは、安定した仕事に就けない、十分な収入がないことが要因となっており、仕事の環境、子育て、産む環境が整っていないことなどが背景にある。また、出生率は延びているものの、若い方の流出が増えているので、これらの方々にいかに魅力ある職場の提供ができるかということも重要となってくる。これからも原因の究明は行っていきたい。
市長	市民の理想とする子どもの数は2.72人、実際の子どもの数は2.09人であり、理想と現実とは違っている。この原因としては、子育てや教育にお金がかかり過ぎるから、が1番の理由となっている。そういったことから、よく保育料を安くしてほしいといった要望が出されるが、なかなかお金の面で希望に応えることは難しい。子育てするためには、結婚をして、きちんとした仕事に就かないといけない。このような世の中の仕組みが、昔と違って、現在は厳しい状況となっている。

質問②	
男性B	テレビで観たのだが、人口が増えて活力が生まれている自治体があった。このような全国的な成功例があれば教えて頂きたい。番組で観た自治体は、医療費が無料、保育料の助成など福祉環境が充実しており、このようなメリットが非常に多いことから、そこに移住してくる人がいるようであった。筑後市も先進的な自治体を参考にすればアイデアも出てくるのではないか。
回答②	
企画 財政 課長	先進的な自治体については、具体的な資料がないので詳しいことはお答えできない。特徴的なこととしては、その地域の産業や文化的なものを後継者が担って人材育成を含めた取組を行い、そのようなひとつのきっかけから始めて、それを広げていく運動が現在起こっているようである。筑後市では、現在、新婚世帯向けの家賃補助、第3子が生まれた方への支給、空き家への居住体験などの定住促進の取組を行っている。

質問③	
男性C	現在筑後市に住んでいる結婚適齢期の方の中で、どれくらいが未婚なのか。その方達は、決して結婚を嫌っているのではないのだと思う。出会いが少なく、自分に合う相性の方と出逢っていないのではないか。昔は、お見合いという形があり、自分も会社のイベントなどで色々な方達の出会いをつくってあげていた。現在は、そのようなことが少なくなっているのではないか。市として、出逢いの場を提供する企画は考えていないのか。
回答③	
企画 財政 課長	未婚状況は 15 歳以上の男性は 5,258 人、女性は 4,678 人である。未婚率は年々上がっているが、全国平均や福岡平均よりは低い状況である。結婚に関する取組は、八女、広川、筑後の広域で連携し、八女・筑後結婚サポートセンターという事業を行っている。そこでは、団体のお見合いなどを行っており、数名の方が成婚までいったと聞いている。また、11 月に結婚サポートセンターと県との共催でライフデザインセミナーを開催する予定である。女性との付き合いが苦手な方等に対し、講師を呼んで恋愛応援セミナー、結婚応援セミナーを行う。
市長	今の時代は、仲人のいない結婚式ばかりである。昔のようなシステムを復活出来たらよいと思う。また、筑後市内だけでなく、広域地域の企業でお見合いを行うのもよいかと思う。 現在、筑後市は職員採用試験を行っている。応募状況として、他の市町村と比較して、ダントツに筑後市役所を受験する人が多い。ソフトバンクホークスが来ると決まって、その影響があるのかもしれないが、近隣の市町村が 20 倍であるのに対し、筑後市は 50 倍の倍率で試験の応募があっている。その分、よい人材が集まるということでもあり、嬉しい状況となっている。

質問④	
男性D	市内に若者の働く場所がないというが、企業誘致にはどれくらい力を入れているのか。
回答④	
建設 経済 部長	商工観光課の中に企業誘致の担当部署を設けて、取り組んでいる。筑後市においては工業団地のような誘致をするのではなく、民間の空き地に対して企業の誘致をしてきた。製造業は厳しい状況であるが、八女インター周辺の配送センターなど商業関係の企業が進出してきている。
市長	企業アンケートでも、高速道路が利用しやすいなど、筑後市は事業が行いやすい環境であるという意見が多い。ここ数年でもインター周辺などに多くの新しい企業が筑後市に進出してきている。今までも企業誘致を頑張っており、ロッテなどの企業が定着し現在の姿となっている。その昔の恩恵を受けているのだから、今後も未来の人に私たちが残してやりたいと思う。

質問⑤	
男性A	3ヶ年計画や5ヶ年計画などがあるだろうが、そういったものがあるのなら、それはいつまでに計画をされるのか。
回答⑤	
市長	まず、「人口ビジョン」で長期的な人口推計を行い、それを受けてどういった対策を打つのかといった内容を盛り込んだ計画である「総合戦略」を5ヶ年計画にて策定する予定である。総合戦略は今年度策定する予定であり、このまちづくり懇談会では、総合戦略での具体的なアイデアを皆さんに出して頂き、推進委員会で検討を進めたいと考えている。

質問⑥	
男性E	その「総合戦略」は5ヶ年ということだが、具体的な内容はいつ出てくるのか。アイデアが欲しいということだが、5つの取組を同時にやるのもよいが、どれかひとつメインを決めて取り組むのも、筑後市の魅力が出てきてよいのではないかと。特に、仕事面では一層の取組が必要であると感じる。
回答⑥	
総務 部長	本日示した「総合戦略」はあくまでフレームの段階である。現在、多方面の方に委員になって頂いて、その推進委員会にて議論をしている段階である。今年度中には、具体的な内容を出して行く予定である。今後5年間で、筑後市としてどのようなことに力を入れて取り組んでいくかといった対策を示し、またその次の5ヶ年の総合戦略に繋がっていくため、当然5ヶ年で終わるものではない。

6. 閉会